

おうちの図工室・美術室

形と色彩の“自分年表”

対象学年 中学校3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

歴史の教科書には、いろんな年表が載っていますが、「自分」の年表を作るならどんな年表になるでしょうか。

生まれてから、今まで、どんなことがありましたか。そして、どんなことを感じたり、考えたりしていたのでしょうか。覚えてない人は、「きっとこの時の自分はこうだったんじゃないかな。」でかまいません。

また、これまでだけでなく、これからの人生を年表にするのもいいかもしれませんね。

この年表を見る人にも、あなたの「これまで」や「これから」が形と色彩で伝わるように、作ってみてください。

- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね。
- どんどん紙をつなげて、一枚の紙にぎゅっと書いてもかまいません。
- 自分年表についての解説を、作品の裏でも余白でも別の紙にでもいいので書いて、教えてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分のこれまでを振り返ったり、これからを考えたりしたことを、形と色彩で視覚化することで、新しく自分の生き方に対する見方を持つきっかけになることを期待します。そして、自分の人生での出来事という事実だけでなく、事実に付随する人の思いや考えを想像することで、価値を感じ取る幅を広げる姿勢を培います。

共感性

自分の感じたことや考えたことを視覚化する時に、より他者に伝えやすくするために適した形や色彩の使い方を学びます。また、自分の生き方と他者の生き方のあり方を考える契機になることを期待します。

三観点

知識・技能

他者に伝わりやすい形や色彩で、視覚的にまとめることができる。

思考・判断・表現

自分の人生の在り方を自分なりにイメージし、形や色彩に置き換えることができる。

主体的に学習に取り組む態度

自分の人生の過去・現在・未来について、考えようとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

5歳

公園で色鬼するのが大好きだった。
この時期が一番そとで遊ぶのが好きで明るかった。

15歳 (現在)

いろんなことがしたい。部活も勉強。
すこし恋愛もしてみたいけど、人には言いたくない。
ごちゃごちゃしているなと思う。

45歳

やさしい家族に囲まれて、幸せになってほしい。
どんな状況でも水みかんに
ゆったりと大きな人になってほしいから
長い線をたくさんひいた。

0歳

アルバムにたくさんの人に喜んでもら
えていた写真があって嬉しかった。
生まれてこれてよかったと思う。

10歳

まわりの人と喧嘩することが多かった。
嫌なことも言われたし、言ったから
あまりこの時の自分が好きじゃない。
だから、どんよりした感じにした。

25歳

どんどんできることが増えていってほ
しい。社会の中で、もっと自信がなくて
ほしい。これまでの自分よりもでっかく
生きてほしいから
これまでよりも大きく描いた。



おうちの図工室・美術室

●感想

小さい時のことなんて、もう覚えてない。でも、親が作ってくれたアルバムを見返したり、「どんな子供だった？」と聞いたりしたら、みんな嬉しそうに話してくれたので、自分は大切にされてきたんだなと改めて感じた。

途中、自分のことをなんて嫌な人間なんだと思っていたこともあったけど、今はそうでもなくなっていたから、不思議だ。人って変わるんだと思えた。

これからの自分は、今より素敵になってほしい。だから、年表には大好きなオレンジや赤ではつらつとした輝くような感じで描いた。どうすれば年表みたいになれるかはまだわからないけど、これから頑張っってその方法を見つけたい。